

# 森林官からのおたより

天竜森林管理署 瀬尻森林事務所

森林官 早坂直樹

## 管内の紹介

私の勤務している森林事務所は、静岡県西部浜松市、天竜川本流が流れる旧龍山村に位置し、森林面積1,427haの国有林を管理しています。

管内は赤石山脈の前衛にあたる山岳地帯から遠州灘までにわたる地域となっており、山から海へと多彩な景色が広がっています。

浜松市は平成19年4月から政令指



瀬尻国有林遠望



天竜川の「船明ダム」

定都市となりました。それに伴う森林率の増大を踏まえ、平成19年3月に「森林・林業ビジョン」が策定され、「価値ある森林の共創」との理念のもと、活発な森林経営を目指しています。

その浜松市の北部に位置する天竜林業地は、昔から『天竜美林』とも呼ばれ日本三大人工美林の一つに数えられ、その美しさとともに、良質な木材の産地として知られています。担当する事務所のすぐ脇には天竜

川が流れ、その昔は、暴れ天竜とも呼ばれ多くの水害を起こしていました。

現在はダム等の治水事業のおかげで逆にそのエネルギーを発電や農業用水に使っています。

## スギ展示林

瀬尻国有林866と林小班にあるスギの展示林は明治21年に植栽されたもので、瀬尻国有林の中でも最良の生育を示す林分として人工林施策の参考にするため、昭和23年に保護林に指定されました。

現在は展示林とし小中学生や一般の方々が訪れ、学習や憩いの場として利用されています。



瀬尻展示林 (精英樹)

## 森林官として

森林官として早くも9ヶ月が過ぎました。毎朝、山の詰所で現場職員と龍山茶をすすりながら山のことを話せる時間はとても貴重なものです。

私は今まで北国の森林しか見てこなかつたため、ここ天竜の森林に出



国有林現地見学会で説明をする森林官

会えて大きな衝撃を受けました。花粉症に無縁な私は、たくさんのスギ・ヒノキに囲まれ山の空気を目一杯吸い、樹の力を分けてもらっています。

また、車も重機もない時代に、山頂まで植林されたスギやヒノキの人工林を見るたびに、先人の森林づくりに対し頭の下がる思いです。

その昔、この地域の美林の礎を築いた金原明善翁の植林事業から百年余りが経過し、現在ではその2代目の森林が育っています。その森林は間伐等の手入れが必要な林分も多いのですが、適切な森林整備をすれば今後の良好な生育が想定されます。そのためにも、よく森を見て、国民の公共財である国有林を預かっているという意識を強く持ち、安全に留意しつつ、現場の業務に全力で取り組んで行きたいと思っています。